

問 多面的機能支払交付金の活用を

近年は農村地域の高齢化や人口減少などのため、地域の共同作業による多面的機能の発揮に支障が生じている。当制度は、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を支援しているが、当市の活用状況は。また、活動組織の拡大策として農業者以外の方へのPRは。

答 今後も制度の情報を地域に発信していく

国では、基礎的な農村環境の保全活動を行う組織に対して、交付金を交付している。当市では、現在6つの組織が活動しており、農業者以外の方も含め、地域ぐるみで環境保全に取り組んでいる。今後も制度の情報を地域の皆様に発信していきたい。



松本栄一 議員
(創政会)



市道104号線

問 生活道路の安全確保を

生活道路において蓋架け済の側溝や路側線は、歩行者や自転車が車との接触を避ける場所でもある。彦兵衛地内から宮代町へつながる市道104号線は、車の通行量が増え、未整備の区間は危険な状況である。側溝の蓋架けの進捗状況と路側線の整備計画は。

答 段階的な対応をしていく

本路線の側溝の蓋架けの状況は、住宅区域はおおむね完了している。宮代町方面の区間は、周辺が農地であり未整備であるが、市内には未着手路線が多数あり、早期の対応はむずかしい状況である。安全対策として、まずは路側線の設置を検討する。

問 白岡駅西口の開発計画は

白岡駅東口は、区画整理事業により、開発が進んでいる。西口の一部でも買収が進んでいるが、白岡駅西口ロータリーを含めた付近の計画、開発の進捗状況について伺う。

答 「にぎわいの創出」を目指す

白岡駅西口駅前広場を含む白岡駅西口線の整備は、用地買収方式で進めている。西口周辺は、事業推進により生活の利便向上や交通の安全確保、さらには宅地の利用増進を図る。これらの事業効果により、市の中心としてふさわしい「にぎわいの創出」を目指す。



大倉秀夫 議員
(白新会)



通学風景

問 小学生にランドセルの無償貸与を

児童生徒の登下校における持ち物の重さについて、どのような配慮をしているかを伺う。また、ランドセルは頑丈で質も良くなり容積も増えている。ランドセルメーカーも対策を講じ始めているが、軽いランドセルの貸与や無償化を検討してはどうか。

答 登下校における持ち物への配慮を行う

持ち物については、家庭学習として使わないものは、学校で保管するなどの配慮をしている。ランドセルは、個人により背負った感じや好みの問題もあり、教育委員会での貸与または無償化はむずかしい。引き続き、持ち物への配慮を行うよう学校へ指導していく。